

ロックミュージックの発展と それによって生まれたもの

吉本 壘

序

1. すべての始まり、BEATLES
2. BEATLES が生み出した “可能性”
3. 60 年代を代表するロックバンドたち
4. ジャンルの発展
5. ジャンルの発展によって生み出されたもの
6. モッシュの種類

結

序

現代の音楽ジャンルの中でも根強い人気を誇るロック・ミュージックが一番発展した 60 年代をはじめとしてシーンの変遷について触れていこうと思う。なぜ、初期は大人たちから怪訝な目で見られていたロック・ミュージックがここまで大衆にとけ込んでいったか。それは次代を担う若者たちに受け入れられたというのが大きい原因であるだろうが、それ以外の要因、干渉があったはずである。したがってロック・ミュージックの変遷は社会変化の一つの写し鏡であり、社会変化が各時代の若者達にどのような影響を与えたのかについて分析する手掛かりになるかもしれない。

1. すべての始まり、BEATLES

60 年代当初、停滞しかけていたロックシーンを押し上げて 20 世紀後半の世界で最大の大衆文化として成長させたある集団がある。

その名も BEATLES。このイギリスのリヴァプール生まれの四人の

若者による現在と同じバンド形式によって作り出される音楽は、60年代以降のロックバンドに多大な影響を与えていくことになった。

2. BEATLES が生み出した “可能性”

BEATLES の活動によって生み出しされた可能性は以下の三つである。

- ・ギターを中心としたロックバンド編成の復権
- ・ライブ・バンドとしての実力
- ・自分達で作詞作曲

一つめのギターを中心としたロックバンド編成、現在のバンドでは当たり前であるが当時はそうではなかった。当時、ギター・バンドはもう時代遅れと言われていたし、実際 50 年代のギターを使ったアーティストたちは表舞台から去り、ロックという音楽自体が希薄になっていたからだ。

二つめに、ライブ・バンドとしての実力とは、ライブでファンを増やしていったことである。これは現在のバンドスタイルと変わらない。人々をライブパフォーマンスによって魅了していき、ファンの動員を増やすといったものである。

三つめは、すべての曲を自分らで作詞作曲、演奏するということである。現在であれば当たり前のことであるが、当時は作詞、作曲、歌手、演奏者、と分かれていた。

このスタイルは今後のバンドに受け継がれていくことになる。

3. 60 年代を代表するロックバンドたち

このビートルズの他にも、後々のシーンに影響を与えたバンドは存在する。

ローリング・ストーンズ、ビーチ・ボーイズ、The Who、ヤードバードズ、ジミ・ヘンドリクス、ストゥージス、レッド・ツェッペリン

等、60年代は、数を上げればきりが無いほどに偉大なアーティストたちが現れていた時代だった。

4. ジャンルの発展

ロックミュージックは 60 年代をもって様々なジャンルに発展していく。ロックはさらに激しいハードロック、メタルを生み、社会への不満はパンクを生み出していった。さらにパンクはメタルなどのサウンドを取り込みハードコア、メタルコアなどという風に発展していった。

個人的見解になるが、このジャンルを代表するバンドと共に紹介していく。

・ロック

50 年代に流行したロックンロールとリズム&ブルース、その二つが BEATLES という一つのバンドによって融合し、完成したのがこの「ロック」というジャンルだと考えている。

ロックンロールの特徴だったピアノとサックスのポップなサウンドは、エレキギターの分厚いサウンドにとってかわり、リードギター、リズムギター、ベースギター、ドラムの 4 編成による演奏が基本となっていたのも「ロック」の特徴である。

なお、ロックンロールと「ロック」は BEATLES を起点とした違うジャンルとして考えている。

代表的なバンドは、BEATLES、ローリングストーンズである。

・ハードロック

ブルースを基調とするリードサウンドはロック直系なモノを感じるが、ゴツゴツとしたリフや、アドリブ主体での長いギターソロなど、ギタープレイヤーが特に目立つようになったロックである。

実際に、このハードロックというジャンルが流行した 70 年代～

80年代では多くのギターヒーローが生み出された。

代表的なバンドは、レッドツェッペリン、ディープ・パープルである。

・メタル

大音量でディストーションのきいた金属的なギターサウンドと、ハイトーンリードヴォーカルあるいはコーラスを売りとするロックを「ヘヴィ・メタル」と呼ぶ。ディープ・パープル、ブラック・サバスが徐々にその基板を確立していく。70年代後期からジューダス・プリースト、アイアン・メイデン、メタリカなどの活躍により本格的にジャンルとして確立した。

私見では、ハードロックとメタルの違いは楽器の面で見ればドラムのバスのペダルがシングルなのがハードロック、ツーバス、もしくはツインペダルの場合メタル、と言う風に分類している。

5. ジャンルの発展によって生み出されたもの

ロックがさらにそのサウンドやパフォーマンスを激しくしていくたびに、観客も只棒立ちでその激しいパフォーマンスを眺めているだけではなくっていった。

激しいサウンドに合わせた動きを始めたのである。この事をモッシュという。モッシュとはヘヴィメタル、パンクロック、ハードコアのライブで始まったとされる現象で、ライブ会場で観客が曲やアーティストの煽り、観客内の扇動により、興奮し押しくらゐ頭状に押し合いへし合いする状態のことを言う。このモッシュにも様々な種類がある。これを説明していこう。

6. モッシュの種類

ここでは、主なモッシュを説明する。

・ウォールオブデス Wall of Death

ライブ会場で観客が左右に分かれ、曲の開始もしくはバンドが合図をした瞬間に全員で左右から中央に突撃する非常に危険なモッシュである。過去死傷者も出ているモッシュである¹。

主にハードコア、メタルコア、デスメタル、スラッシュメタルのライブで行われます。ハードコア・バンドの Sick Of It All のライブで始まったといわれている。

・ストーム storm

ライブ会場で観客が輪を描くように移動もしくはグルグルと回ること。サークルなどと呼ばれる事もある。

パンク、ハードロック、ハードコア、ヘヴィメタルなどでテンポの速い曲で起こる事が多い。

サークル、もしくは左回り、と呼ばれることがある。また、サークルが行われている場所のことをサークルピットと呼ぶ²。

・ダイブ dive

モッシュダイブと呼ばれる事もある。

ステージ上や、会場を仕切る柵、または他の観客を利用して、観客が密集している場所に飛び込む行為をダイブと言う。

ステージ上のバンドメンバーが観客席にダイブすることもあり、ステージ上からのダイブは「ステージダイブ」とも呼ばれる。

ダイブにはそのまま飛び込む場合や、前転や捻りなどを加えて飛び込むことも有る。

¹ 参考動画として以下をあげることができる。Bruno Veland Beck 「wall of death - wacken metalcore」 (2009年9月24日)

<<https://www.youtube.com/watch?v=ql4qxin7p6I>>。

² 参考動画として以下をあげることができる。Diego Moreira 「MEGA Circle Pit - A7X Crossroads Mosh Riff」 (2011年6月5日)

<<https://youtube.be/n0HY1YxX5iA>>。

非常に危険な行為のため、ほとんどのライブ会場では表向き禁止になっている。過去には、ダイブしてきた人が受け止められることがなく落下し、死亡するといった事故も起きている。

これらは基本的には禁止されている行為だが、ライブハウスや野外フェスなどではよく見るものである。上記のもの以外にもハードコアモッシュ、ツーステップなど様々なモッシュの形があるが、あまりにも多く細かいため割愛する³。

結

以上の分析について一つはっきりしたものがある。それは時代を経ていくごとにバンドとその観客との関係性が変わっていったということだ。それがどのような関係になっていったかというモッシュという行動が生まれたことにより、バンドが観客を煽るだけではなく、観客自身が「自分達はお前らバンドの音楽でこんなにも楽しんでいるぞ」ということをバンドに向けてアピールをし出したことだ。個人的な見解であるが、このモッシュという行動はバンドと観客を平等にして、観客も含めてステージの一部という新しいスタイルを生み出した。これにより、観客とバンドの距離が縮まり、ライトユーザーがその音楽に興味を持ちやすくなり若者たちに流行したと考えている。

今後の検討課題としては、さらなるジャンルの掘り下げと、そのジャンルによって周りに与えた影響、社会現象等について調べていきたい。

³ 詳しくは、いちらん屋「ライブでのモッシュ・ダイブの種類一覧」(2014年11月29日最終更新) < <http://ichiranya.com/music/006-mosh.php> >に譲る。